

## 「家庭基礎」学習指導案

広島市立舟入高等学校

教諭 亀川 浩子

本学習指導案のポイント（高校教育指導課指導主事 松田 百合）

本学習指導案では、生徒に商品の選択を行う疑似体験活動を通して、一人一人の消費行動が社会で生じている課題とつながっていることを理解させ、今後、持続可能な社会を創っていくために、消費者市民としてどのように商品を選んでいくことが望ましいかを考えさせている。

教員が商品に関する情報を整理して提示するだけでなく、生徒に商品に関する情報を読み取らせ、どの情報を手がかりにして、どのように商品選択に活かしていくか、タブレットを用いて発表させ、思考を深めさせるよう工夫されている。

1 日時・場所：令和元年10月23日（水）5限（13：50～14：40）総合実習室

2 学年・学級：第1学年6組40名（男子15名・女子25名）

3 単元名：「消費者市民となるために」

<新学習指導要領 関連事項>

C 持続可能な消費生活・環境

(2) 消費行動と意思決定

イ 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫すること。

(3) 持続可能なライフスタイルと環境

ア 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解すること。

イ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫すること。

4 単元について

(1) 単元観

学習を通して、一人一人の消費行動は社会で生じている課題とつながっていることを理解させる。又、逆に、社会の課題について自分につながる課題として関心を持ち理解しておくことの意義や重要性に気付かせたい。その上で、持続可能な社会を創っていくためには、消費者市民としての意識をもって生活することが必要であることを自覚させ、実生活での行動につなげさせたい。

(2) 生徒観

食生活の学習の中で、「地産地消を意識して食材を購入する」という課題に取り組ませた際、「物の購入」に際し、生徒にとって関心が大きく、又購入を決定づける大きな要素は、「価格の安さ」が基本になっていることがわかった。中学校で食品の品質表示についても学んできており、情報を活用することを知識としてもってはいるものの、それを実生活の場面で活用するということの必要性が十分には理解できておらず、活用に至っていない生徒が多い。

一方で、学習に対する姿勢は前向きで、他者の話に素直に耳を傾けることができる。問いを投げかけ、グループ活動で意見交換をさせながら取り組んでいくことで、改めて自分の行動を振り返らせ、生徒個々にとって、学んだことが実生活にも活かされるより深い学びとなるよう、浸透させていきたい。

(3) 指導観

直前に食生活についての学習をしているため、生徒が「自分のこと」として考えやすい食生活に関する課題を幅広く認識させることを通して、品質表示には課題解決のために必要な様々な情報が含まれていることを再認識させる。

また、それらの課題はSDGsともつながっており、一人ひとりの消費行動は「持続可能な社会」を創っていくための重要な要素であることを映像も活用しながら実感としてつかませたい。

その上で、実社会における課題を認識しているからこそ品質表示が活用できることや、情報を得ることで多角的な視点から「適切な消費行動」が選択できることを理解させ、実生活で活用できる力としていきたい。

5 単元の目標

・消費者市民としての批判的思考に基づいて主体的に意思決定し、持続可能な社会の実現に向けて行動できるようになる。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
持続可能な消費および責任ある消費について理解し、情報を活用する力を身に付けている。	直面する課題に対し、学習してきたことを活かして解決のための方策を考え、表現するなど、適切な意思決定をする力を身に付けている。	主体的に課題に取り組み、自分の考えを述べようとしている。

7 指導と評価の計画 (全6時間)

次	学習内容 (時間)	知	思	主	評価規準	評価方法
1	食生活の課題を解決するために私たちにできること (4時間)	◎		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの食生活には、様々な課題があることを理解している。</li> <li>様々な課題は、一人ひとりの消費者の行動と切り離せないものであり、消費行動によって解決に近づけることができることを理解している。</li> <li>課題の解決のためには、「持続可能な消費」および「責任ある消費」が必要であることを理解している。</li> </ul>	考查 ワークシートの記述
2	消費者市民となるために (2時間) 本時2/2		◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて理解している。</li> <li>これまでの学習を活かし、持続可能な社会の実現のために、適切な意思決定をすることができる。</li> <li>自分で取り組めることを考え、取り組もうとしている。</li> </ul>	観察 ワークシートの記述

8 本時の展開

(1) 本時の目標

これまで、食生活の課題と消費者の行動との関係について学習してきたことを活かし、日用品の選択とエシカル消費について考察することを通して、持続可能な社会の実現に向けて一人ひとりが消費者市民として行動できるようになる。

(2) 観点別評価規準

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>直面する課題に対し、学習してきたことを活かして解決のための方策を考え、表現するなど、適切な意思決定をする力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に課題に取り組み、班の話し合いでは積極的に自分の考えを述べようとしている。</li> </ul>
	*ワークシートの記述からの見取り ①エシカル消費の視点で考察することができる。 ②消費者市民として、 <u>どのように考えて</u> 選択の意思決定をしたか説明できる。 ③自分のこれまでの消費行動を振り返り、持続可能な社会の実現に向けて、今後どのように行動しようと考えているかを記述できる。	*話し合い場面での机間指導による見取り ①価格の推測 ②価格の違いを生む背景の推測 ③商品の情報の紹介 ④比較検討するための視点 ⑤発表場面での役割 ⑥支払方法についての交流
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者市民として、複数の視点で検討し意思決定をし、持続可能な社会とするために社会に対する提言もしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に自分の考えを述べるだけでなく、他者の意見に対する意見を述べたり、班内の意見を集約したりしようとしている。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者市民として、複数の視点で検討し意思決定をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に自分の考えを述べようとしている。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者市民として考えることができず、自分の事情のみで意思決定をしている。</li> <li>(指導の手立て)                              ・経済的な問題等、事情を優先しなければならないこともあるが、「ゆとりのあるときには視野を広くして考えてみよう。」という声かけをしながら、前向きに取り組ませるよう留意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを述べることに消極的である。</li> <li>(指導の手立て)                              ・他者の意見に耳を傾け、「同感である」「賛成である」等の意思表示をすることから発言につなげさせるよう留意する。</li> </ul>

(3) 準備物

・タオル5種類      ・ワークシート「消費者市民となるために」      ・商品の情報カード

(4) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	評価方法
導入	①本時の目標を確認する。 ②ついているラベルからの情報により価格を推測する。 ③価格を知り、なぜ価格が違うのか考える。	自分が使用するものとして選択させる。	
展開1	①追加情報から、各商品の価値を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各タオルの綿花の産地</li> <li>「オーガニック」について</li> <li>各タオルのコンセプト</li> </ul>	
展開2	①「持続可能な社会」のための「責任ある消費行動」とするためにはどんな視点から検討するとよいか班で相談する。 ②視点について班で発表を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働者への配慮      ・環境への配慮</li> <li>地域への配慮      ・社会への配慮</li> <li>物(の価値)への配慮      ・自身の事情</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に課題に取り組み、班の話し合いでは積極的に自分の考えを述べようとしている。(観察)</li> </ul>
展開3	①それぞれの商品を購入するということはどういう意思表示になるか検討する。 ②班の発表を行う。	・タブレットを使用させる。	
まとめ	①ワークシートを使って内容を整理する。	*「エシカル(倫理的)消費者」 *「消費者市民」	<ul style="list-style-type: none"> <li>直面する課題に対し、学習してきたことを活かして解決のための方策を考え、表現するなど、適切な意思決定をする力を身に付けている。(ワークシート)</li> </ul>
本時の振り返り	①エシカル消費の視点で考察する。 ②自分のこれまでの消費行動を振り返り、持続可能な社会の実現に向けて、今後どのように行動しようと考えているかを記述する。		